

Business Report

アステリア株式会社

(旧：インフォテリア株式会社)

証券コード：3853

ごあいさつ

Top Message

アステリアは、システム、ヒト、モノ、 そしてオモイを未来へ「つなぐ」企業として これからも成長を続けてまいります。

本年、地震や豪雨などにより被災された皆様ならびにご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当社グループの事業は、「ソフトウェアで世界をつなぐ」をコンセプトに、情報システムや情報間を「つなぐ」ためのソフトウェア、および企業がお客様とつながる接点であるユーザーインターフェイスのデザインを開発し、お客様に提供しております。

当期におきましては、主力製品である「ASTERIA Warp」、「Handbook」に加え、2017年4月の買収により100%子会社としたThis Place社が提供するデザインサービスも引き続き成長し、第2四半期連結累計期間として売上収益は過去最高となりました。一方で、グループ全体で将来に向けた人材獲得や製品機能強化に対する投資を戦略的に増加させたことに加え、デザインサービスの成長に伴う人件費およびThis Place社買収にかかるアーンアウト(成果報酬型買収対価)の増加により、営業利益および四半期利益は減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上収益は1,601百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益は19百万円(前年同期比94.1%減)、税引前四半期利益は72百万円(前年同期比67.1%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は6百万円(前年同期比95.6%減)となりました。

今後も2020年度までの中期経営計画を達成し、さらなる企業価値の向上を実現するため尽力してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも経営へのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

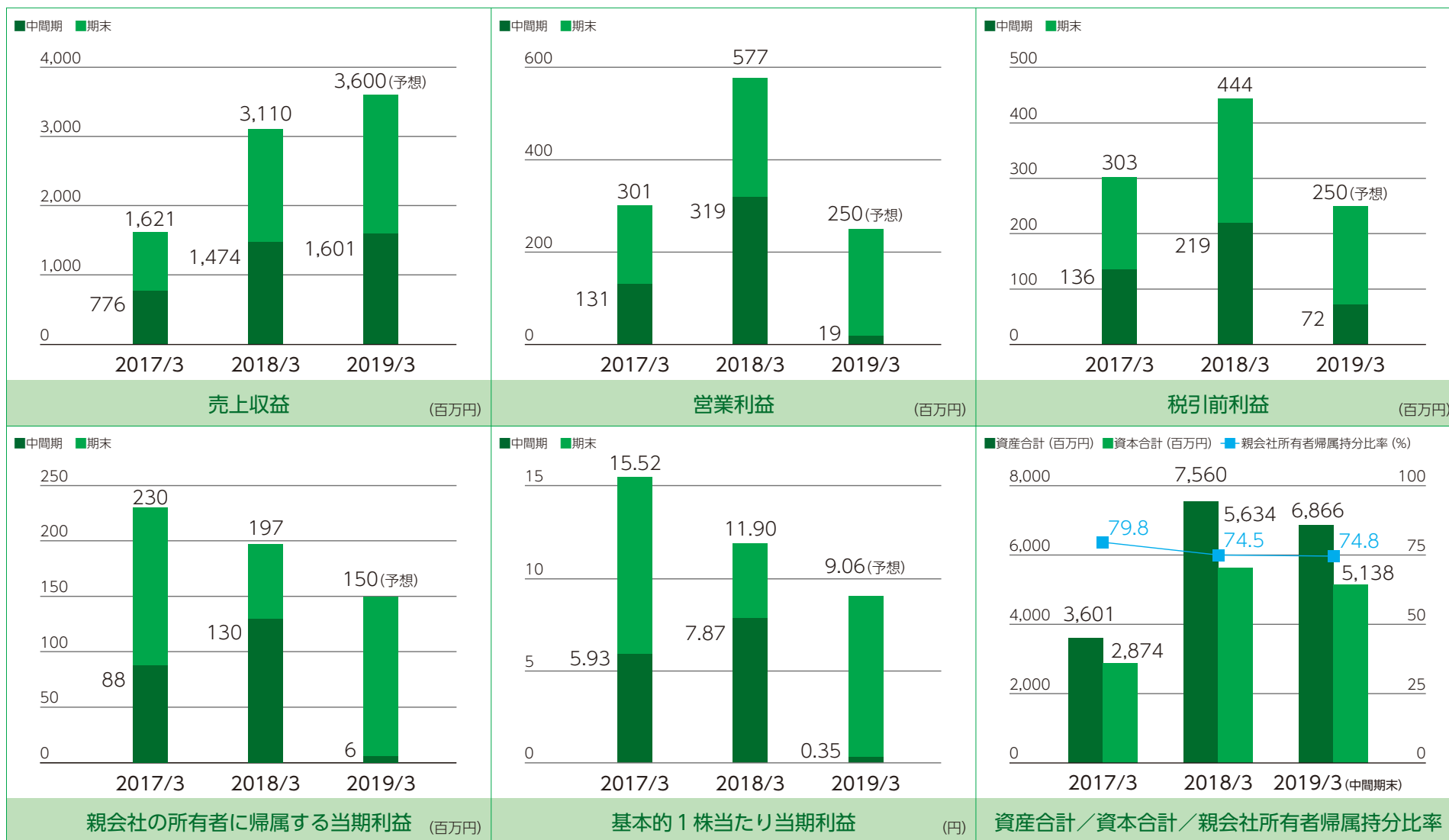


代表取締役社長 / CEO 平野 洋一郎

財務ハイライト

Financial Highlights

当第2四半期では、中核製品であるASTERIA Warpは導入社数を7,267社(770社増)とし、Handbookの累積契約件数も1,460件(134件増)となるなど、売上収益は過去最高となりました。一方、グループ全体では人材獲得や製品強化などの投資を戦略的に実行したことなどにより、営業利益および四半期利益は減少しました。



アステリアに社名を変更した理由

～さらなる成長を目指して～

Asteria



アステリアに込めた念い

この度、創業20周年と東証一部への市場変更という節目にあたり、そしてこれからの20年に向けてさらなる飛躍をしていきたいということで、社名を「インフォテリア」から「アステリア」に変更しました。「アステリア」という名前はギリシア語で「星座」を意味します。星座が星々をつないでいくことで形をつくるように、あらゆるものをつなぐことで新しい価値を生み出していく、という念いを新しい社名に込めています。

インフォテリアからアステリアへ

これまでの「インフォテリア」という名前は「インフォメーション」と「カフェテリア」をかけた造語でした。創業した20年前に企業のインフォメーションシステムを簡単に、自在につなげたいという念いで「インフォテリア」と名付けたのです。

しかし、5年ほど前から社名を変更したいと思うようになりました。当社は2009年にHandbookというモバイルデバイスをつなぐソフトウェアをリリースし、その後もGravioなどのIoTを意識した開発をはじめています。これは、それまでの企業インフォメーションシステムだけでなく、世の中にあるありとあらゆるものがインターネットでつながる時代になっていくことを見据えたものでした。



そしていまや、車もソフトウェアで動き、農業でもソフトウェアが活躍しています。あらゆるところにソフトウェアがあり、それらをつないでいくことこそ、私達の使命です。それを体現できる名前を付けたいと考えるようになっていたのです。

おかげさまで「インフォテリア」という社名も株式市場やIT業界でかなり知られる名前になりました。自ら名付けた社名を変えることに、後ろ髪を引かれる思いは確かにありました。しかし、マザーズ上場から今にいたるまで応援していただいた株主の皆様を含めたステークホルダーの皆様も、世界へ飛躍するためのステップとして喜んでいただけただけであろうと、社名を新たにすることを決めたのです。

東京通信工業株式会社が現在のソニー株式会社に社名変更をされたのも、東証一部に上場した年でした。そして、そこから大きくグローバルに活躍する企業に成長されています。当社もグローバル企業を目指すにあたって、今回の社名変更には、同社へのリスペクトも含まれています。

また新しい社名を決める際には、海外で活躍するにあたってアルファベットの「A」からはじまる社名にしたいということや、文字数にもこだわりました。これまで日本経済新聞の経済欄で掲載されるときは「インフォテリア」と掲載されていました。これは証券に関わる情報サイトなどでも踏襲されてしまい、「インフォテリア」では検索されないというマーケティング面からのデメリットもあったのです。名前を短くすることでそのデメリットを解消し、さらにM&Aによる新しい会社の社名にはグループ企業として「アステリア〇〇」と名付けやすくなりました。

星々をつなぐ星座のように多くのものをつなぐことで新しい価値を創造し、これからより大きく成長していくという念いを込めて、「アステリア」という名前に決めたのです。

さらなる成長を目指して

ソフトウェア業界というのは自社開発の製品だけで事業を行うことももちろんできますが、世の中の変化は目まぐるしく、私達もさらなる成長を見据えて積極的にM&Aを行っていきたくて考えています。世界的な大企業であるGoogleやFacebook、マイクロソフト、オラクルといった企業も、自前主義では無く様々な企業や技術を外部から取り入れて今のポジションを築きました。私達も世界で活躍する企業になるため、成長のスピード、良い人材、良い技術を積極的に取り入れ、つなぐことに注力して世界でのカテゴリーナンバーワン企業になっていきたいと考えています。

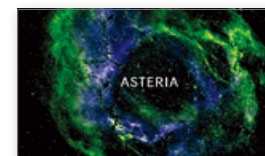
現在、当社の海外売上高は40%を超えました。しかし日本のソフトウェア市場は、世界的にみれば6%程度しかありません。つまり90%以上が海外の市場です。中期経営計画では海外売上高50%を目標に掲げていますが、世界で活躍する企業としては、さらに先を目指していきたくて考えています。

株主の皆様へ

「アステリア」への社名変更には、社長である私だけでなく、社員メンバーすべての、世界へ向けて飛躍するんだという念いが詰まっています。これまでの実績と蓄積を活かし、今後「アステリア」はさらに企業価値を向上させ、世界をつないでまいります。これからどうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。

社名プロモーションムービー公開中

社名変更にあわせて新しいロゴも制作しました。制作を担当したのは、ロンドンのThis Placeチームです。そして、ロゴのプロモーションビデオも作りしました。旧Infoteriaのロゴから新Asteriaのロゴに生まれ変わるイメージです。



QRコードはこちらから



<https://www.youtube.com/watch?v=eFZZQUgpMR4>

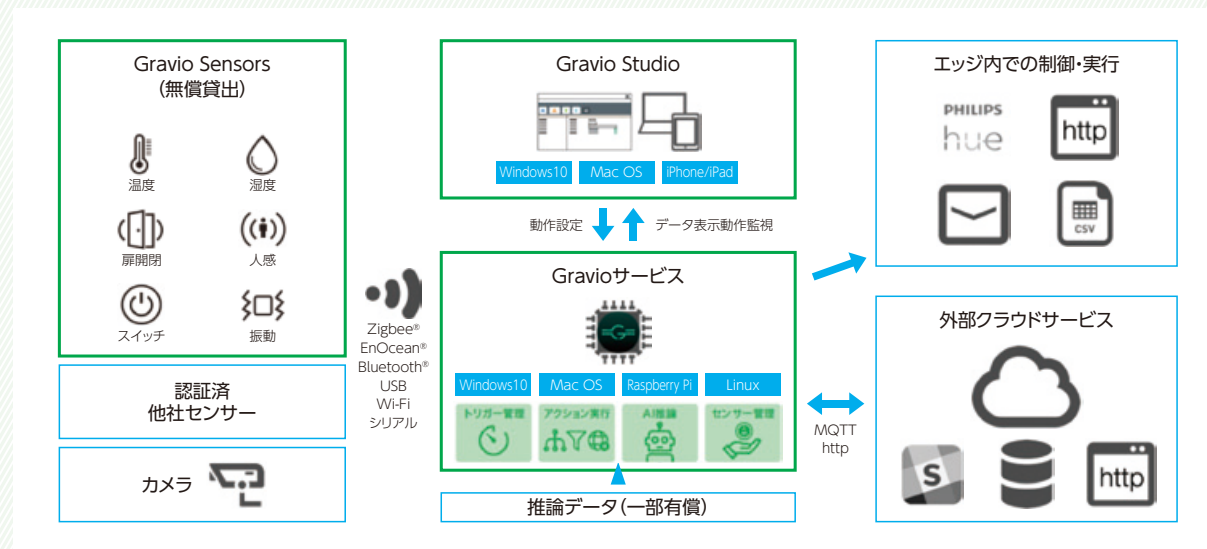
新Gravio サービス提供開始

2017年より提供を開始しているIoT向けソフトウェア“Gravio”の新しいバージョン(以下、新Gravio)をリリースしました。新Gravioでは、ソフトウェア本体の機能強化だけでなく、よりIoTを簡単に活用いただくため、すぐにつながるデザインの良いセンサーの無償貸出もあわせて行います。

様々な業種において、IoTの利活用による自動化と効率化が技術的には実現可能になりつつあります。しかしながら、IoTはセンサー、ネットワーク、プログラミング、クラウドとIT全般にわたる広範囲な知識が必要であり、実際に工場や屋外での使用など一部の先進的な利用

形態が中心であり、一般企業には普及してきたとはいえません。当社ではこのような課題に対し、一般企業や店舗などでも簡単にIoTデータの収集、加工、連携を実現することができるGravioを開発しました。

新Gravioは旧バージョンのユーザーからのフィードバックをもとにサービス全体を見直しています。センサーの無償貸出や機械学習による推論を活用したAI機能の内蔵などを行っており、他にはない画期的なエッジコンピューティングモデルウェアで、最新のテクノロジーをより迅速に、より簡単にご利用いただける“エッジウェア”です。



機能	Gravio Free	Gravio Basic	Gravio Standard
無償貸出センサー数	0	4	10
ソフトウェアセンサー機能	○	○	○
ネットワークカメラ対応	×	○	○
サポート	Slack上のサポートコミュニティ		ユーザー専用Web経由
価格	無償	月額500円	月額2万円

< 新Gravioの特長 >

- 1: IoTセンサー各種の無償貸出。センサー選定や購入に関する手間を解消。迅速に利用可能。
- 2: 画像AIによる「ソフトウェアセンサー」機能。画像に含まれる情報を機械学習(ML)によりエッジで処理。様々な推論を基に有意なデータ生成が可能。
- 3: Gravio App(スマートフォン用アプリ)の提供。エッジ側で取得、演算された様々な情報を他アプリケーションに連携可能。
- 4: MQTT対応。IoTソリューションで一般的なプロトコルに対応。外部システムへの接続性を向上。
- 5: ノン・プログラミングをさらに洗練。直感的かつ流麗なインターフェースにより高い操作性を提供。
- 6: マルチプラットフォーム。Windows 10に加えMac OS、Linux、iOSに対応

「Platio(プラディオ)」が 「2018年度 グッドデザイン賞」を受賞!

Platioは、プログラミングの知識が無くてもブラウザ上のマウス操作でモバイルアプリを手軽に作成することができるクラウドサービスです。カスタマイズ可能なテンプレートを利用して、活用現場に合わせたモバイルアプリを簡単に作成・配信できます。

そのPlatioが2018年グッドデザイン賞を受賞いたしました。受賞に際しては「複雑かつ高価格になりがちな業務用アプリを、手軽に作れるソリューションは評価される。多くの中小企業では、業務のための専用アプリを作ることは、企業体力的に不可能に近い。このサービスが、そのポイントを解決する糸口となることを期待したい。テンプレートの基本機能を組み合わせるだけでも、多くの事柄が業務改善できるだろう。」(審査員コメントから引用)として高く評価されました。



ブロックチェーン技術による文書改ざん検知ソリューションの共同実験を開始

大分県竹田市でブロックチェーン技術による文書改ざん検知ソリューションを使用した共同実験を行いました。

竹田市では行政システムの効率化や手続きの簡素化、公文書のペーパーレス化に向けた検討を進める中で、ブロックチェーン技術が持つ可能性に注目していました。

ブロックチェーン技術は主に金融分野で注目されていますが、「記録したデータを改ざんすることが極めて難しい」という特性を活かして様々な分野での応用がはじまっています。当社が開発したブロックチェーン技術による文書改ざん検知ソリューションが、今後の公文書管理業務を考えていく上で参考になると判断され、職員向けの勉強会やデモンストレーションなどを実施しました。

当社では、今後も竹田市との実験や情報交換を通じてブロックチェーン技術の活用シーンを模索していきます。



猛暑を避けて快適に働くことを提言し 本当の“働き方改革”を追求

当社オフィスが所在する東京・大阪地区において最高気温35度以上が予想される「猛暑日」は、オフィスに出勤せずにテレワーク(在宅勤務等)を推奨する「猛暑テレワーク」を実施しています。今年はPlatioによる勤怠管理ツールを新たに導入し、社員への猛暑日通知、会社へのテレワーク連絡、必要に応じてGPSによる就業場所の報告などを簡単操作で実現し、テレワークの利用しやすさをさらに高めるとともに、煩雑になりがちな勤怠管理の効率化を図っています。

今後も社員の健康や家庭環境に配慮した、より仕事効率の高い就業環境の充実のために、一層働きやすい環境づくりを実現する各種施策の導入を進めていく計画です。



テレワークをしている社員とWeb会議をしている様子

会社概要 (2018年9月30日現在)

商号 アステリア株式会社
Asteria Corporation
(旧:インフォテリア株式会社
2018年10月より社名変更しました)

設立 1998年9月

本社 〒140-0014
東京都品川区大井一丁目47番1号
NTビル10F
TEL:03-5718-1655

西日本事業所 〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田二丁目4番13号
阪神産経桜橋ビル 3F
TEL:06-6344-1065

資本金 22億7,534万円

事業内容 XMLを基盤としたソフトウェアプロダクトの
開発・販売

従業員数(連結) 123名

海外拠点

- Infoteria America Corporation
- 亿福天(杭州)信息科技有限公司
Infoteria (Hangzhou) Information Technology Co., Ltd.
- 櫻枫天(上海)贸易有限公司
Infoteria China Co., Ltd.
- Infoteria Hong Kong Limited
- Infoteria Pte. Ltd.
- This Place Limited
- This Place Inc.

役員の状況 (2018年9月30日現在) ※は社外役員

代表取締役社長/CEO	平野 洋一郎
取締役	※ 五味 廣文
取締役	※ 田村 耕太郎
取締役	※ Anis Uzzaman
常勤監査役	※ 赤松 万也
監査役	尾崎 常行
監査役	※ 小口 光
執行役員 副社長/最高技術責任者	北原 淑行
執行役員/コーポレート本部長	齊藤 裕久
執行役員/中国開発センター担当	黄 曦
執行役員/Global COO	Dusan Hamlin
執行役員/エンタープライズ本部長	熊谷 晋

株式情報 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 44,600,000株

発行済株式の総数 17,491,265株
(自己株式899,041株を含む)

株主数 11,147名

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,035,800	12.27%
平野 洋一郎	1,860,000	11.21%
北原 淑行	888,000	5.35%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	570,000	3.44%
パナソニックインフォメーション システムズ株式会社	550,000	3.31%
株式会社ミロク情報サービス	528,000	3.18%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	426,600	2.57%
資産管理サービス信託銀行 株式会社(証券投資信託口)	253,200	1.53%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	189,600	1.14%
古谷 和雄	171,000	1.03%

(注) 1. 当社は自己株式899,041株を保有しておりますが、上記の表には記載
しておりません。

2. 持株比率は自己株式(899,041株)を控除して計算しております。

株式の状況 合計株主数 11,147名

自己名義株式	0.01%
金融機関	0.16%
証券会社	0.20%
外国法人等	0.52%
その他の法人	0.57%

所有者別分布状況

個人・その他 98.54%

所有株数別分布状況

個人・その他 58.42%

金融機関 23.33%

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

証券コード 3853

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

決算期日 3月31日

定時株主総会 毎年6月

基準日 3月31日

公告の方法 電子公告 ただし、やむを得ない事由により、
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
通話料無料 0120-232-711
(郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
通話料無料 0120-782-031

ホームページ <https://www.asteria.com/>

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承
ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっております
ので、三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社ではお手続きでき
ませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ASTERIA, Handbook, Platio, Graviolは、アステリア株式会社の登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

IRメルマガ配信中

アステリアの最近のニュースや
トピックス、キャンペーン情報などを、
「ASTERIA IR News」として配信いたします。

https://www.asteria.com/jp/contact/mail/ir_entry/

こちらから
ご登録
いただけます



Asteria

〒140-0014 東京都品川区大井一丁目47番1号 NTビル10F TEL:03-5718-1655

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C013080